

阿南市立小・中学校の再編に係る地域住民説明会 報告書

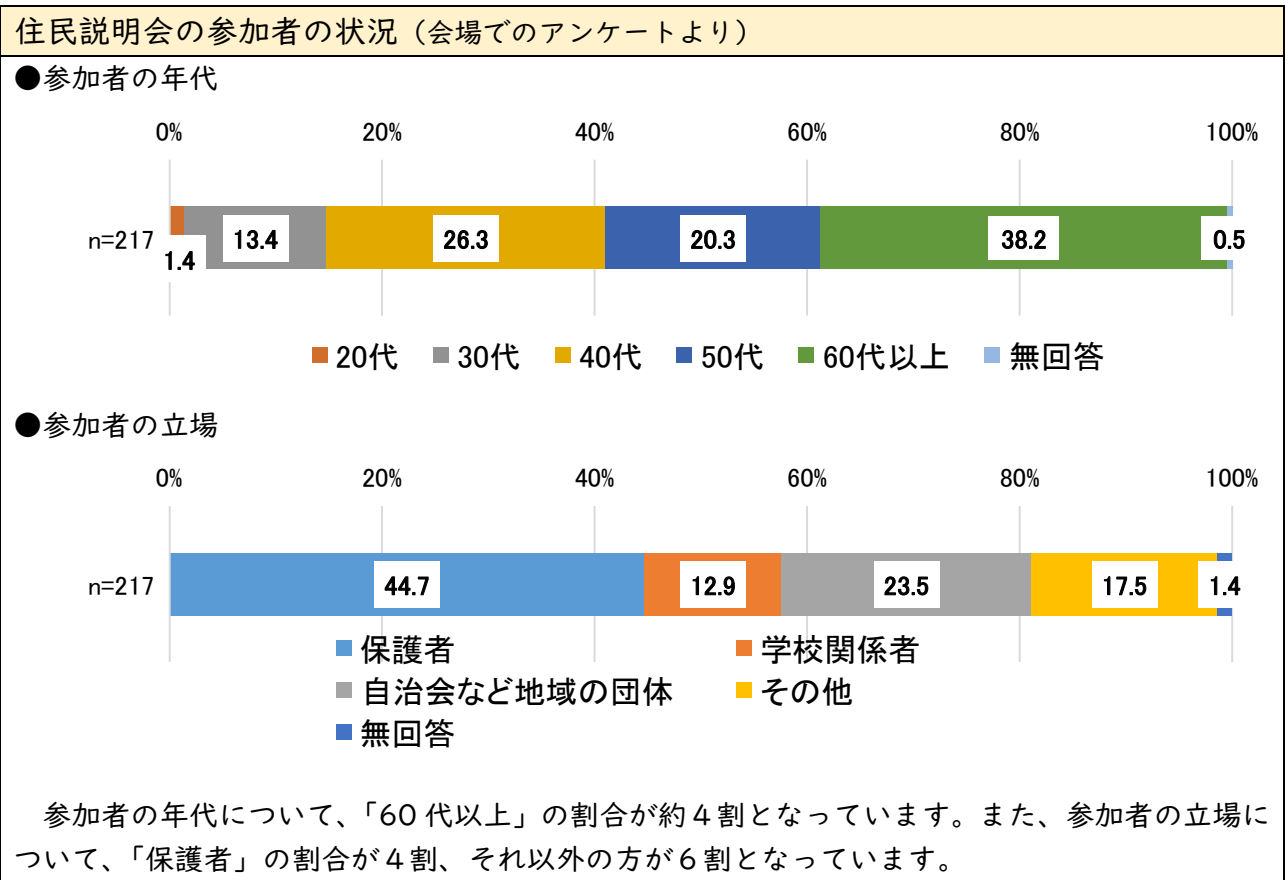
目次

住民説明会概要	1
総評	2
地区別説明会報告	4
大野地区	4
長生地区	5
加茂谷地区	6
橘地区	7
桑野地区	8
見能林地区	9
福井地区	10
椿地区	11
新野地区	12
伊島地区	13
中野島地区	14
那賀川地区	15
宝田地区	16
羽ノ浦地区	17
富岡地区	18
資料（住民説明会アンケート調査票）	19

■住民説明会概要

2024年1月22日から2024年2月26日まで、市内全15地区で、阿南市立小・中学校の再編に係る地域住民説明会を実施しました。

住民説明会開催概要								
●全15地区の参加者数は、延べ246人でした。								
実施日	1/22	1/24	1/26	1/29	1/30	1/31	2/5	2/7
地区	大野地区	長生地区	加茂谷地区	橘地区	桑野地区	見能林地区	福井地区	椿地区
会場	大野公民館	長生公民館	加茂谷公民館	橘公民館	桑野公民館	見能林公民館	福井公民館	椿公民館
参加住民数	16人	15人	28人	26人	4人	17人	18人	16人
実施日	2/9	2/13	2/15	2/16	2/19	2/21	2/26	計
地区	新野地区	伊島地区	中野島地区	那賀川地区	宝田地区	羽ノ浦地区	富岡地区	
会場	新野公民館	伊島小・中学校体育館	中野島公民館	那賀川社会福祉会館	宝田公民館	コスモホール	富岡公民館	
参加住民数	22人	12人	12人	17人	8人	26人	9人	246人
広報あなんやホームページへの掲載、マチコミメール等で地域住民の方々の参加を呼びかけました。								



■総評

各地区での住民説明会における質疑応答の内容やアンケート結果から、再編にあたっての懸念点について整理を行いました。

No	地区名	再編にあたっての懸念点
1	大野	・スクールバスの導入にあたり、予算面や運転手の確保、乗降場所、乗り遅れた時の対応。 ・小規模特認校の入学条件が、入学を断念することに繋がらないかどうか。 ・PTA 会費や学校施設の利用料など経済的負担について。
2	長生	・校舎位置の検討にあたって、防災面は考慮されているのか。 ・学童の設置場所。 ・休校・廃校の判断時期や、休校・廃校後の校舎の活用。 ・教職員の充実に向けて、学習支援員の採用増加ができないかどうか。
3	加茂谷	・スクールバスの導入にあたり、ルートなどの利便性の確保。 ・再編によって、途中で学校が変わる子どもへの対応。 ・吉井小学校の老朽化対策や小規模特認校の導入に向けて何を行うのか。 ・当事者である子どもや保護者の意見。
4	橘	・橘小学校として受け入れるための環境整備。(ロータリーの設置など) ・福井地区など県南地域から歩いて通う子どもの通学路の安全性の確保。 ・災害時の対応について。
5	桑野	・統合によって、学校が嫌いになることが起きないかどうか。 ・再編検討会における教育委員会の関わり方。
6	見能林	・津乃峰から通う子どもの通学手段の確保。(スクールバスの導入を含む) ・津乃峰の住民に向けた説明と合意形成の図り方。 ・見能林小学校の建て替えは行われるのか。
7	福井	・スクールバスの導入にあたり、中学校の部活動との兼ね合いについて。 ・通学時、災害時に対する心配や不安。 ・学校がなくなった後の地域防災。
8	椿	・途中で学校が変わることに対する不安や子どものケア。 ・学校がなくなった後の地域防災。 ・統合でなくなる学校の教育財産(ヒト、モノ、自然環境)の活用。
9	新野	・スクールバスの導入にあたり、低学年と高学年の運行時間の調整について。 ・再編検討会の立ち上げ方や合意形成の図り方。 ・再編に伴う校区外通学の申請方法。
10	伊島	・伊島地区について懸念点に関するご意見はありませんでした。

No	地区名	再編にあたっての懸念点
11	中野島	・スクールバスの導入にあたり、部活動との兼ね合いについて。 ・校舎位置の関係から隣接区域選択制の導入は検討されるのか。 ・発達障がいなど児童の発達の差が大きくなっていることに配慮はされるのか。
12	那賀川	・第2期以降で再編となる今津小学校と平島小学校の校舎位置や学童の位置。 ・再編検討会や再編準備委員会での合意形成の図り方。 ・小規模校の歴史文化や地域の良さがしっかり継承されるかどうか。
13	宝田	・スクールバスの導入にあたり、乗り物酔いする子どもやバスが苦手な子どもへの配慮。 ・急に友達が変わることや通学距離が長くなること。 ・送迎や参観日などで保護者の負担が増えること。 ・避難所としての役割も担う学校を地域から減らしていいのかどうか。
14	羽ノ浦	・災害時に避難場所となる学校へのアクセスの問題。 ・羽ノ浦小学校と岩脇小学校の老朽化対策や建て替え。(統合の意見もあり) ・教職員に対する研修はどのように進めるのか。
15	富岡	・小規模特認校で校区外から吉井小学校に通う子どもが卒業後に通う中学校。 ・通学時間が長くなることによる授業時間への影響。 ・地区によって状況は異なるが、第1期から第3期にかけて10年単位で再編統合が繰り返されることに対する学校関係者、子ども、保護者への負担。

■地区別説明会報告

地区	大野地区	開催日	2024 年 1 月 22 日（月）
会場	大野公民館	開催時間	19：00～20：30
出席者数	16 人	就学校	大野小学校・阿南第一中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 吉井小学校が小規模特認校として継続することになった根拠は何か⇒小規模特認校として、市内のどの地区からでも通えるようにすることで、大規模校に馴染めない子どもたちも通えるようにするという意味合いがある。
- 通学手段についてスクールバスや路線バスを使うなど検討しているが、そのあたりの問題点や予算面はどう考えているか⇒現在はスクールバスを中心に、規模によってはジャンボタクシーを検討しているが、予算的には充実が必要である。また、市長部局と連携し市内の公共交通と組み合わせて便利にすることも考えている。
- スクールバスを導入すると転回場の土地を確保するなど準備が必要では⇒子どもの体力づくりのために、学校に直接乗り入れるのではなく、施設で一旦降車し、そこから歩いて登下校することも想定している。
- 第1期、第2期を同時に再編するようなことはできないのか⇒先行して再編すること自体は可能であるが、通学手段を確保できるかがポイントになっている。校区によっては確保に時間がかかる地区もあり、保護者の負担も加味したうえでの計画となっている。
- 大野小学校は多くの保護者が送迎している。スクールバスなどの交通手段を確保することに時間をかけるよりも、子どもがいるうちに早い段階で統合すべきでは⇒地域住民の合意があれば、計画を前倒しにすることもありうる。
- 吉井小学校の小規模特認校の条件について、卒業まで6年間在籍することを挙げている。それが負担となって入学を断念する可能性があるのでは⇒在籍期間については難しい問題だが、小規模特認校制度を廃止する際に、最後の子どもが卒業するまで責任を持って保障していくため、期間の条件を設けている。
- 部活動、PTA 会費、学校施設の利用料など保護者が気にしているところは他にもあるため、そのあたりもケアが必要⇒PTA についても、学校関係の所管課で協議をしている。

説明会後のアンケート結果

問4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- 場所をどこにするのか。
- 吉井小学校との合併が必要な理由。
- 再編にあたって子どもたちの通学の仕方がどうなるのか。

問5 その他・ご意見（抜粋）

- スクールバスやタクシーの計画の中に老人が買い物や通院に使える共同体制が組めないのか。
- 人口減少や施設の維持管理費が増大する中で学校再編は必要だと思うため、もっとスピーディーな動きを望みます。小学校の新設場所などすでに候補地の目星をつけているとか、交渉中とか具体的な話が聞きたかった。
- 統合によって保護者会や役員会に間に合わなくなるかもしれないので距離が伸び過ぎるのは保護者が困る。また、スクールバスの乗降場所に乗り遅れた子どもが残された場合の連絡手段をどうしたらいいのか。発達障がいの子どものは、咄嗟の判断が難しいので誰か待機する人をシルバーでもいいので派遣してほしい。

地区	長生地区	開催日	2024 年 1 月 24 日（水）
会場	長生公民館	開催時間	19：00～20：45
出席者数	15 人	就学校	長生小学校・阿南第一中学校

質疑応答内容（抜粋）
○集約された後の校舎はどのようなになるのか⇒校舎の老朽化がどうなっているのか、休校とするのか廃校とするのかなどの判断材料によって対応が変わる。休校の活用事例は新野西小学校などがある。廃校の活用事例は、三好市の事例を現地で学んでいる。休校に比べると廃校の方が活用の自由度が高くなるため、廃校とした際には三好市の事例も参考に、市長部局とも連携を図りながら校舎の活用も考えていきたい。 ○休校と廃校を判断する時期はいつ頃か⇒校舎を活用することを考えれば、できるだけ早い時期に廃校として判断し、老朽化が深刻となる前に有効活用していくのが望ましいと考えている。 ○統合先の選定にあたっては、海沿いの他の地区も含めて防災面の考慮はされているのか⇒阿南市の災害に関するマップを精査しながら、どのような組み合わせであれば校舎や通学路の安心安全が確保できるのか考えている。 ○長生小学校の学童について、子どもたちが本庄まで通っていることに不安がある。学校の空き教室が増えるようであれば、学校内に設置することも考えてもらいたい⇒ご意見について、学童を担当する所管課に伝えるようにする。 ○再編による教職員の負担を考えると、阿南市が雇っている学習支援員を充実させることも考えられるが、そのあたりの予定はあるのか⇒今年度は 14 名配置している。今後、必要に応じて採用を増やすことも検討していきたい。
説明会後のアンケート結果
<u>問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）</u> ○今回は素案となっているが、実施計画の具体案をもっと知りたい。 ○今回の説明会で、市が市民に伝えなかった再編統合の狙い。
<u>問 5 その他・ご意見（抜粋）</u> ○我々の意見をどのように再編計画に反映させるのか。 ○参加者が少ないことに驚きました。保育所、学校に働きかけたのでしょうか。 ○阿南で子育てしたい人を増やしたいと答えていましたが、ぜひとも実現、実行してください。 ○安全に子どもたちが暮らせるようにお願いします。 ○説明会に参加したくてもできない人もいないかもしれないため、ZOOM 等を活用してはどうか。 ○今後、合併再編するにしても、校舎は子どもたちが過ごしやすいように安全な学校の維持をお願いします。 ○地域住民が納得できる方向で取り組んでほしいと思います。 ○長生小学校のプールについて、放課後プールはできなくなるのか。 ○未就学児の皆さんにもマチコミで案内してください。 ○市議会議員が行っているタウンミーティングの中で、テーマをこの再編統合にして、講師として説明ができる職員さんにお越しいただくのも一案かと考えています。 ○現状は災害時避難場所になっているが、廃校になった後の小学校は災害時の避難場所として指定されるのか。現状の公民館では避難場所としては狭い気がする。

地区	加茂谷地区	開催日	2024 年 1 月 26 日（金）
会場	加茂谷公民館	開催時間	19：00～21：00
出席者数	28 人	就学校	吉井小学校・大井小学校（休校）・ 加茂谷中学校

質疑応答内容（抜粋）	
○吉井小学校の小規模特認校について、校区外から通いたくなるような魅力はあるのか⇒学校主導型で英語学習を小学 1 年生から取り組む事例や、地域主導型で地域住民らと盛り上げていく事例がある。関係機関と連携しながら、通いたいという子どもを増やしていきたい。 ○小規模特認校の効果がなければ再編するとあったが、その判断基準はどこか⇒複式学級が解消できるか、現在の学校規模が維持できるかどうかの 2 点である。大体の目安としては現在の在籍人数である 55 人程度である。 ○その学校に残りたいと考える子どもにはどう対応するのか⇒校区ごとに検討会等も設けて意見を聞き取ること考えている。その中で合意が得られず、小規模校として残ることがあっても、教育委員会では責任を持って教育を行うことを考えている。 ○吉井小学校の老朽化に対して、今後どうしていくのか⇒再編計画策定後に個別の施設計画を立てることを予定しており、その中で検討していきたい。 ○廃校後の利活用について、過去に休校中の大井小学校で利用したいと提案したが、許可が下りなかった。そのあたり今後は進めていけるのか⇒休校のままだと、施設が老朽化していくため、廃校にして活用を広げることを視野に検討している段階である。 ○教職員への負担が増加していることや人事異動もあって流動的であることを考えると、特色ある学校づくりを進めるために地域が関わることでできるシステムの確立が必要ではないか⇒コミュニティスクールとして地域の支援を受けながら学校づくりを行っていきたい。	
説明会後のアンケート結果	
<u>問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）</u> ○スクールバスで通う場合、病気になった時や不登校になった時の連絡等について。 ○スクールバスはどのようなルートになるのか。 ○少人数で過ごしてきた子どもたちが、大規模校に通うようになることへのケアについて。 ○メリットだけではなく、デメリットについても説明してもらいたかった。 ○再編対象校の設定について、加茂谷の小・中学校を義務教育学校にすることはできないのか。	
<u>問 5 その他・ご意見（抜粋）</u> ○築年数やトイレなどの設備環境も考えると、スクールバスを使えるのであれば、大野の子どもが吉井小学校に通うのも良いと思います。また、中学生は受験もあるため、特に中学 2 年生から 3 年生に変わる時のお子さんが可哀想に思いました。 ○検討会に地元の団体等も加えてほしい。また、地元で検討する時間をある程度の期間欲しい。 ○説明会で理解できることもありますが、結局決めている方向へ導いているだけのように感じます。もっと面白い取り組みをしたらいいと思います。 ○吉井小学校の小規模特認校は良いと思います。 ○教員の異動について、加茂谷地域のことを知らずに配置され、「2 年、3 年したら異動するから」と思っている人が多いと感じている。そのあたり親として考えてほしい部分である。 ○小学校だけでも残してほしいです。	

地区	橘地区	開催日	2024 年 1 月 29 日（月）
会場	橘公民館	開催時間	19：00～20：30
出席者数	26 人	就学校	橘小学校・阿南第二中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 橘小学校の PTA の会議では再編について前向きな意見が多かった。その中で、例えば福井などの県南から徒歩で通う場合の通学路の安全性について意見が出たが、どう考えているのか⇒通学路の安全性については、学校再編準備委員会の中に通学部会を設けて、そこで安全に通学できるように検討していきたいと考えている。
- 橘小学校ではロータリーの整備を要望しているが進んでいない。再編によって送迎の車が混雑することも予想される。そのあたりも含めて受け入れる学校側の環境整備はどう考えているのか⇒ロータリーの件については即答できないが、受け入れる先となる学校にどういう設備が必要か、今後検討していきたいと考えている。
- 能登半島で起きていることも踏まえると、この橘地区は、防災的なことも考慮しないといけない。橘地区や他の地区から通う子どもたちの命をどう守るのかを含めて考える必要があると思う⇒通学時に災害が起きた場合の対応等も含めて、安心して通うことができるように安全面をしっかりと考えていきたい。
- 再編が非常にスムーズに進んだ場合、令和 7 年度から統合という可能性もあるのか⇒県教育委員会との事務手続き等もあり、令和 7 年度中というのは難しいと思うが、できるだけ皆様の思いに合わせた形でスピード感をもって取り組みたい。
- 子どもに対して学校再編のことを説明するのはいつ頃か⇒別の住民説明会でも同様のご意見を頂いている。大好きな学校が変わることに対して、子どものケアをどうするのかという観点を今後の計画に反映できるように取り組んでいきたい。

説明会後のアンケート結果

問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- 統合の時期は検討会での希望次第とのことですが、保護者としては「何年頃に予定している」という見通しを早めに知りたい。
- 校区が広くなるため、地域とのつながりがどうなるのか、どう考えているのか知りたい。
- この再編計画について、他の地区の住民はどう思っているのか。
- 学校が変わる側と受け入れる側のそれぞれの子どもたちの心のケアの仕方。
- 決めないといけない事が全て決まってから学校を開始できるまでの期間はどの程度を想定していますか。

問 5 その他・ご意見（抜粋）

- 前倒して早く、スピーディーな再編を望んでいます。
- 橘小学校が残ることはよかったが、他の地域の学校、生徒、住民が心配です。
- 制服の検討は早めにし、統合前から移行できないか。
- 橘小学校の児童クラブは狭くて、大人数の利用が難しい。統合後どうするのか検討して欲しい。
- 統合により、いじめ、不登校、ひきこもり等の問題が増加すると思うが、その対策はどうするのか。
- 統合について賛成です。ただ、スクールバスは絶対的条件で、子どもの安全と保護者の負担を軽減するためにも導入を強く希望します。我が家は橘地区ですが、片道 2km を低学年の頃は 1 時間、高学年の頃は 40 分かけて通学しています。この距離を 1 人で歩くのは何年生になっても心配が尽きません。他の地区から通学する保護者の方は尚更だと思います。

地区	桑野地区	開催日	2024 年 1 月 30 日（火）
会場	桑野公民館	開催時間	19：00～20：30
出席者数	4 人	就学校	桑野小学校・山口小学校 阿南第二中学校

質疑応答内容（抜粋）	
○支援学級について、実際に統合してみないと分からない部分があり、統合した後に学校が嫌になるということがないか心配している⇒再編する前に学校間での交流を考えているほか、受け入れる側となる学校の体制についても考えていきたい。 ○第 1 期の期間が 10 年間となっているが、もっと近い将来に統合する可能性があるのか⇒学校再編検討会の中で再編を早く進めたいという声が大きければ、できるだけ早く再編を進めていきたいと考えている。 ○学校再編検討会について、地域が主導で進めるのか、教育委員会と一緒に進めるのか⇒各自治体によって特徴はあるが、阿南市としては教育委員会が立ち上げや運営のサポートをしていきたいと考えている。 ○住民説明会の周知について、参加者が少ないように思う。小学校に関しては PTA の役員会など保護者が集まる機会もあるため、そのような機会も活用してもらいたい⇒お声がけいただければ、その役員会等の集まりに訪問して説明するといった対応もできる。また、来年度からは学校の校区ごとでも説明会を行うことを検討しており、より多くの皆さまに学校再編についての説明をしていきたいと考えている。	
説明会後のアンケート結果	
問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。 （回答者はいませんでした） 問 5 その他・ご意見 ○前回お聞きした、支援を要する子どもたちのことも考えていただきありがとうございました。 ○大変わかりやすかったです。ありがとうございました。 ○学校再編に向けて、子どもの交流ができる場や時間を十分に検討して作っていただきたい。 ○多くの方の意見を伺えたらよかったと思います。学校でも意見を聞いていきたいと思います。	

地区	見能林地区	開催日	2024 年 1 月 31 日 (水)
会場	見能林公民館	開催時間	19:00～20:30
出席者数	17 人	就学校	見能林小学校・津乃峰小学校 阿南中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 津乃峰小学校から見能林小学校まで徒歩で通うとなると、交通量の多い道を通るため危険性がある。小学校低学年の間だけでも分校のような形で、津乃峰小学校に通うことはできないのか⇒今回は通学距離をベースに考えていたため、通学手段の確保のことまで考えられていない。子どもたちが安心安全に通学できるように議論していきたい。
- 津乃峰小学校が無くなることを知らない津乃峰の住民も多いと思う。再編によるメリットを示すなど丁寧に説明し、みんなが納得できるようにしてもらいたい⇒再編のメリットについては、子どもの教育環境において複式学級で学ぶことがベストかどうか、今回の再編の1つの視点である。そのことを理解してもらえるように説明を行っていきたい。
- スクールバスの運行について、タクシーで分散させることや低学年と高学年で下校時間が異なることに合わせて運行するなど検討していただきたい⇒ご意見を参考に、スクールバスの導入について考えていきたい。
- 見能林小学校について、校舎は津乃峰小学校よりも古く、教室のスペースも含めて考えると、津乃峰小学校の児童を賄うことが難しいのではないかと思います。その点で、見能林小学校に来てもらっても、子どもたちが安心して生き生きとできる教育環境になるか疑問がある⇒校舎の改築については、個別施設計画に反映させて考えていきたいと思う。

説明会後のアンケート結果

問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- スクールバス等の課題について、もう少し具体的に示すこと（たたき台）が必要ではないか。
- 4つの力の育成について、わかりやすく具体的な例。
- 各期の期間がなぜ10年なのか。（長い）また、統合して利用する学校の校舎も老朽化しているが、建て替えも考えているのか。
- 見能林小学校の建て替えをするのかどうか。それは、何年（いつ）頃の予定しているのか。

問 5 その他・ご意見（抜粋）

- 準備委員会に全てを委ねるというのでは、住民はイメージしにくいのと、何に向かって協議すればよいか困るのではないかと思います。
- 保護者の考えをできるだけ吸い上げるシステムがあればと思います。
- 見能林小学校と津乃峰小学校の統合を聞いて驚いた。実施計画を策定する時に、学校が無くなる地域の声を聞いたのか。学校を残す方法はなかったのか。
- 津乃峰学区の生徒が見能林小学校に通われているケースが多いと聞きました。私の子どもは通学距離から津乃峰小学校に通わせることになりますが、学校生活を送る中で、児童数は多い方がいいと考えており、通学路の安全の確保と再編の早期実施を切望します。
- クラブ、社会体育の進め方はどうなるのか。
- 津乃峰町の住民に説明する必要があるのではないか。
- 将来、福井、椿、新野地区から全く学校がなくなってしまうのか。廃校活用するにも、学校がないと若い人たちがいなくなるのではないのか。そのあたり、阿南市南部地域の将来の構想はどう考えているのか。

地区	福井地区	開催日	2024 年 2 月 5 日（月）
会場	福井公民館	開催時間	19：00～20：45
出席者数	18 人	就学校	福井小学校・福井南小学校（休校） 福井中学校

質疑応答内容（抜粋）	
○小規模校の学校を再編して、規模を大きくしようとする考えに違和感がある。大規模校のメリットは何か⇒小規模校にもきめ細やかな教育等のメリットがあるが、今回は複式学級を解消する必要性を重視していることから、再編を検討している。 ○通学時の心配や災害への不安についてどう考えているか⇒第Ⅰ期で再編が予定されている橘小学校は高台にあるため、安全は確保できるが、通学路についても安全が確保できるように検討している。 ○スクールバスについて、部活動で帰りが遅くなる場合はどうなるのか⇒時間を調整して運行している事例があるため、それらをもとに検討していきたい。 ○福井中学校の第Ⅰ期での人数が現在よりも増えているが、今後も増えるということか⇒統計的に増えることになっているが、長期的には減少することが予想される。 ○学校関係の費用について、再編によって得られる財政的なメリットはあるのか⇒学校運営における財政的メリットは少ないと考えている。 ○再編による教育面での効果のエビデンスはあるのか⇒確証となる研究結果やエビデンスは示すことが難しい。	
説明会後のアンケート結果	
<u>問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）</u> ○金額的なメリット、デメリットが知りたい。 ○阿南第二中学校の改築案の中身について。 ○年間の教育時間の増加の可能性（土曜日等）。 ○第Ⅰ期の学校再編に要する費用（事業費）は市全体でどれくらいか。それに対する財政的なメリットは生じるのか。 ○素案を決められた基準について、他に案がいくつあり、何を最も重視したのでしょくか。 ○再編に向けた具体的な実施方法。 ○小学校を再編・統合することのメリット・デメリットについて、福井地区の視点からの説明。	
<u>問 5 その他・ご意見（抜粋）</u> ○校区を再編することで地域防災の取り組みが失われないようにしてほしい。また、学童の位置についても、津波や災害から守れる所が望ましい。 ○再編の早期実現をお願いします。（せめて中学校） ○広い地域での教育資源をどう利用して教育に繋げるか。福井から学校は無くなるが、福井の良いところは伝えていって欲しいと思います。 ○市全体の事業像を伝える意義も分かりますが、推進に前がかりな福井地区だからこそ、踏み込んだ意見交換が出来るのではないのでしょうか。また、再編・統合の道筋を、フローチャートのような形で示せないものか。何がどうなれば、どのように進むのか、言葉や文章だけでなく、可視化できると分かりやすい。 ○再編に賛成です。子どもたちにとって、切磋琢磨する機会やいろんな人の意見を取り入れて意見交換が行えるなどメリットが多いと思います。ただし、親の負担はかなり増えると思います。	

地区	椿地区	開催日	2024 年 2 月 7 日（水）
会場	椿公民館	開催時間	19：00～20：45
出席者数	16 人	就学校	椿小学校・椿泊小学校・蒲生田小学校（休校）・椿町中学校

質疑応答内容（抜粋）	
○椿の子どもが阿南第二中に行くことは可能か。また、子どもは早く合併して欲しいと言っている⇒校区外通学の場合がある。 ○通学の距離について。福井が中心になると思うが、スクールバスは2方向からか1方向からか。また、学校の選定は新しさなのか⇒南部地域は小規模校が多く、再編しても大きな規模にならないところがある。今回示した阿南第二中学校ならば、小学校から北上していくので行きやすいということがある。 ○小中学生がいなくなると地域はどうなるのか。寂しい思いがある⇒学校と地域は密接であると思う。学校が変わっても、その地域を引っ越すことなく学校に通えるようにしていきたい。また、三好市も学校が無くなっているが活用事例があるように、学校再編後の校舎を活用することは可能である。 ○子どもたちがそれぞれの地域から集まる上で、大人たちも繋がっていかないといけない。コミュニティのコアとなるものが無くなることについて、まちづくり推進課はどう考えているのか。そのあたりの情報も伝えてもらいたい⇒大人、教員、行政職員が一緒になってやっていくことは大事だと思う。まちづくりについては、危機管理課、こども課なども連携しており、まちづくりの方向性としては立地適正化計画で示している。それらと一体となった学校再編を検討している。	
説明会後のアンケート結果	
<u>問4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）</u> ○具体的に何年度から再編されるのか。 ○再編後の地域（学校）の展望がもてるような計画も聞きたい。 ○中学校の先生をどう確保していくのか。また、スクールバスの時間について、中学校の部活に差し支えないのかどうか知りたい。 ○郷土を愛する心をどのように育てていくのか。 ○統合されてなくなる学校の教育財産（ヒト、モノ、自然環境）の活用についての具体例。	
<u>問5 その他・ご意見（抜粋）</u> ○廃校・休校になる学校がでてくると思うが、教育施設ということで利用に制約がある等の事情を聞いたりしている。そのあたり、利用しやすい制度づくりをお願いしたい。 ○途中で子どもの学校が変わることへの不安がある。子ども自体が納得していないので、子どもの気持ちへの寄り添い方などどうすればいいのか。 ○保護者、地域住民、団体だけの意見でなく、子どもたちの意見も尊重して欲しいです。 ○教育の中で地域の風土を大切にしたい。 ○第1期の実施を待つのではなく、椿小と椿泊小を1年生が入学する時に統合（椿泊小から椿小に通う）というのはできないものではないでしょうか。また、昨年「椿地区の今後のことについて考える会」に参加した際に、小学校は児童が1人になっても残すべきというご意見もありました。 ○地域防災について、学校と地域が密接に関連していたと思うが、校区が広がると防災活動を地域中心でやっていくことになる。地域の大人がしっかり動かなければならないと思った。	

地区	新野地区	開催日	2024 年 2 月 9 日（金）
会場	新野公民館	開催時間	19：00～20：30
出席者数	22 人	就学校	新野小学校・新野東小学校・新野西小学校（休校）・新野中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 主役である子どもたちにとっては人数が多い方がいいと思う。そのため、児童数が減っていることや同じ新野町であることを重視して、少しでも早く再編を進めていただきたい⇒今回の学校再編は子どもたちの教育環境を向上させるという目的に向けた手段であり、教育委員会としても粘り強く学校再編の必要性を説明していきたい。
- 学校再編検討会のメンバーは保護者全員なのか、あるいは PTA 会長などの役員がメンバーになるのか⇒メンバー構成は、学校の規模にもよると思う。例えば、小さな学校であれば、保護者の方が全員参加する可能性もある。想定では、PTA の役員の方々などを考えている。
- スクールバスについて、小学校の低学年と高学年で下校時間が変わると思う。その場合は下校時間が遅い高学年に合わせるのでしょうか、それとも別々になるのでしょうか⇒スクールバスの運行方法については、これから検討していきたいと考えている。
- 子どもの意見について何か取り入れていることはあるのか⇒各小中学校の学校評価をみると、今の学校に愛着を持つ子どもが多い。こちらから再編に対する考えを聞くようなアプローチよりも、保護者を介して再編に関する子どもの意見を集めたいと考えている。
- 新野東小学校の校区に住んでいるが、これから新野小学校に行くとなった際には、市役所で校区外申請が必要になる。学校再編によって今後の申請方法はどうなるのでしょうか⇒校区外通学の申請方法についても今後検討していきたい。

説明会後のアンケート結果

問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- 合意形成までの方法や流れをもっと詳しく知りたかった。
- 新しく統合した学校に通うようになった際、学級編成において、小規模校から入る生徒や保護者が不安を感じないように配慮していただけるのかどうか。
- 学校統合に向けてのモデルケースを示してもらえると、統合のイメージがしやすい。
- スクールバスや通学路の安全面。
- 準備委員会が具体的にどのように進められていくのか。

問 5 その他・ご意見（抜粋）

- 他の地域から出た質問等について知りたいと思いました。また、橘は災害の心配もあるため、最終的には桑野や新野などの内陸部でより災害に強い校舎、環境にして欲しい。
- 地区ごとでの説明なのだから、全体の話はそこそこにして、新野なら新野にピンポイントで関係することを早く説明して欲しかった。前半の人口減少等の話はムダな時間である。
- 子ども中心の学校づくりに子どもの意見を取り入れていないのはどうなのでしょう。
- 保護者としては、少人数の限られた環境より少しでも人数が多い環境がありがたいです。そのため、できるだけ早く計画を進めてほしいです。
- 小規模校からの生徒の不安を少しでも少なくできるような学校運営の計画をお願いします。
- 学校編成において、ハード面だけでなく、教職員の教育に対する姿勢といったソフト面も重要になると思います。新野中学校のソフト面は教育の核をついており、子ども全員を受け入れる教育観は保護者の信頼を得るものとなっています。こうしたソフト面を充実し、教職員の研修をされることを期待しています。

地区	伊島地区	開催日	2024 年 2 月 13 日（火）
会場	伊島小・中学校体育館	開催時間	13：30～14：10
出席者数	12 人	就学校	伊島小学校（休校）・伊島中学校（休校）

質疑応答内容
○義務教育学校を検討しているのは市内で伊島だけか⇒今回の再編では伊島地区のみ義務教育学校とすることを検討している。義務教育学校は平成28年度にできた制度で、制度が始まったときは全国で20数校であったが、令和4年度時点では全国で178校の義務教育学校が存在している。現状、県内は1校もないため、伊島が県内初の義務教育学校になるかもしれない。
説明会後のアンケート結果
問4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。 ○特にありません。 問5 その他・ご意見 ○県外に住む娘からしっかり話を聞いてくるように言われましたが、要は子どもが少ないということ、ほんとに淋しい限りです。

地区	中野島地区	開催日	2024 年 2 月 15 日（木）
会場	中野島公民館	開催時間	19：00～20：30
出席者数	12 人	就学校	中野島小学校・横見小学校 阿南第一中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 横見小学校の校舎は避難場所になっている。再編で休校になった場合、校舎や体育館の維持管理についてはどうしていくのか⇒市内にある現在休校中の学校は地域の方々に維持管理をお願いしている。施設の老朽化に伴って、改修、除却など考えられるが、現状では具体的な見通しはたっていない。
- 中野島も横見もどちらも阿南第一中校区ではあるが、横見の中では、富岡の方が近いといったケースも考えられる。その場合、新しく家を建てたりすることが難しくなる。中学校に合わせ地区分けをするのは少し違和感がある⇒学校の配置によっては、地区外の学校の方が近くなる場合も考えられる。学校選択制の1つとして、隣接区域選択制がある。今後、阿南市として導入することになれば、横見の人が富岡に通うこともできる可能性がある。
- 中野島小と横見小について、計画は第1期に合併しないとなっているが、これは実際に合併することはないと解釈していいのか⇒地区の合意が得られれば早く実行する可能性はある。そのため、第2期までの10年の期間を待たずに早期統合することはありうる。
- スクールバスについて、部活動等で帰りがばらばらになるときはどうか⇒下校時には例えば、小学校では低学年と高学年でずらしている事例や、中学校は各部活の終了時間を合わせるなど、フレキシブルに対応している事例がある。それらを参考に検討していきたい。
- 発達障がいなど、児童の発達の差が大きくなっている。その点についての配慮等についてはどう考えているのか⇒特別支援の視点では、教職員の研修を組み込んで、個別の配慮・支援が必要な場合に対応できるようにしていきたい。

説明会後のアンケート結果

問4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- 見直し期間ではどのようなことがされるのでしょうか。また、第1期から第2期では見直し期間がありますが、第2期から第3期に見直し期間がないのはどうしてでしょうか。
- 小規模特認校について、吉井小学校以外に設けなかった理由と、中学校に設けなかった理由。
- 計画が10年単位ということで、イメージがつきにくく、難しいかもしれないが3年単位、5年単位での動きを知りたかった。
- 支援学級についてもっと深く知りたい。
- 小・中学校再編に向けて計画中である事の情報やアンケート等はどのような範囲で周知が行われているのでしょうか。

問5 その他・ご意見（抜粋）

- 対面式ではなくて、ZOOMやTeamsによるWeb説明会も実施して欲しい。
- 具体的な内容が決まってから、再度説明会をして欲しい。
- 今住んでいる人だけでなく、これから住みたいと思える学校づくりを検討して欲しい。
- 現在、小・中学校に通うお子さんがいる保護者の方も再編について無関心な方が多いように感じます。そのあたり、未就学のお子さんがある保護者も含めて、今の段階から自分ごととして関心を持って、みんなで子ども達の教育環境や登下校の安全性等について考えていくという意識を持ってもらうためのアプローチが必要かなと感じています。

地区	那賀川地区	開催日	2024 年 2 月 16 日（金）
会場	那賀川社会福祉会館	開催時間	19：00～20：00
出席者数	17 人	就学校	今津小学校・平島小学校 那賀川中学校

質疑応答内容	
○第2期の今津、平島の再編で校舎の位置が示されていなかったが、現段階では決まっていないのか⇒基本計画の中で、再編の既存の学校位置と施設を優先的に活用することとしている。今後この方針に沿って検討をしていくが、例外的なケースも想定される。 ○今津、平島が間もなく築50年を迎えるということで、差し迫っている。再編の計画を前倒しにすることは可能か⇒長寿命化改修を行えば80年は持つとされている。50年という期間が、今後改修するか除却するかどうかを決めるタイミングとしてよいタイミングになっている。早期の再編については、地域の合意が得られれば対応していきたい。 ○再編後の学童の位置はどうなるのか⇒学童については、まだ計画段階であるが県内の事例として、新しくできた学校に学童施設を新設するパターンが多い。このあたりについては、今後検討していきたい。 ○再編、施設の改修にあたっては、その周りだけでなく地域全体を見据えて計画を実行してほしい。計画の前倒しについて、10年後20年後ではなく、できるだけ早く実行に移して欲しい。先の話と感じ、当事者意識が欠如している⇒ご意見ありがとうございます。 ○再編を行うにあたって、メリットしか説明がされていない。また、小さい学校にもよい文化があり、そういった学校に対して、地域住民と協働して歴史と文化が衰退しないように力を入れて欲しい⇒デメリットについても注視していきたいと思う。また、再編によって地域が大きくなるにあたって、地域のよさ、歴史文化が継承されるよう、教育課程を考えていきたいと思う。	
説明会後のアンケート結果	
<u>問4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。</u> ○再編計画を重点に詳しく説明して欲しかった。 ○平島と今津のどちらの校舎を使うのか。あるいは新しく建てるのか。	
<u>問5 その他・ご意見（抜粋）</u> ○学校が統合することで、友達が増えたり、いろんな刺激があるのは良いと思います。人数が増えて、先生と子どもの距離が遠くならないように、子どもの姿を大切にしてほしいと思います。 ○学校再編という大事な案件であるのに関心度が低いのが気になります。また、学童のご意見もありましたが、これからは学童の在り方が大事になってくると思います。 ○時期の前倒しを強く希望します。 ○再編にあたり通学方法と学童について十分検討して欲しいと思います。 ○小さな学校のメリットについてもオープンにして欲しい。 ○学校再編は避けて通ることのできない道であり、もっと若い保護者に関心を持ってほしい。また、再編が決まった後には、新しい学校の校舎位置、校名、校歌などについて種々の反対が起きると思います。そのため、事前に充分検討する必要があると思います。 ○学校への送迎が増えることが考えられますが、現在も周辺の住民の苦情もあるみたいです。通学路がどうなるか安全か気になります。また、学校再編準備委員会の設置とありましたが、PTA役員になりたい人も少ない中、どうなるのかなと思いました。10年後のことを今から保護者で話し合えるのかなと思いました。	

地区	宝田地区	開催日	2024 年 2 月 19 日（月）
会場	宝田公民館	開催時間	19：00～20：30
出席者数	8 人	就学校	宝田小学校・阿南第一中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 有事の際には公共施設が避難所になる。阪神淡路大震災ではあらかじめ想定したよりも避難所が足りなくなり、機能しなくなるということがあった。その点で必要となる避難所を減らしてしまっているのか⇒避難所を減らしているのかというところで、仮に今回廃校となる学校がたととしても、その学校を避難所として活用していくことは検討していく必要がある。仮設住宅を建築するために廃校となった学校の敷地を使うなどの活用方法もある。防災面でもしっかり考えたうえで再編計画を進めていきたい。
- 子どもの教育環境がよくなるメリットはわかったが、送迎や参観日など保護者の負担は大きくなるなど、実際考えるとデメリットが多いように感じる。デメリットについてはどう考えているのか⇒教育の内容について、小規模校で今まで丁寧にできてきた教育ができなくなることや、統廃合によって地域のコミュニティが失われるという心配が生じることがデメリットとして考えられる。
- 中学生の子どもからの意見として、急に友達が変わったりすることや、通学距離が長くなることが心配であるといった意見があった。再編にあたって、大人だけでなく、子どもからの意見を聞く場はあるのか⇒子どもからの意見については、子どもにアンケート等は行わず、保護者を通じて子どもの意見をくみ取るようにしている。先程の子どもの意見はとても貴重であり、そのような意見を広く取り入れていきたい。
- スクールバスについてネガティブな意見はあまりないということであるが、乗り物酔いをする子ども、バスが苦手な子どももいる。その他にも保護者による送迎が増えることで車の渋滞の問題や、自転車通学についても、大人の目線では見落としがちな危険箇所が必ずある。そういったこともしっかり考えていただきたい⇒貴重なご意見ありがとうございます。

説明会後のアンケート結果

問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- 宝田小より長生小の校舎が新しいとのことですが、もう少し詳しく提示して欲しいと思いました。例えば、特別教室（理科室、家庭科室）は長生小の方が新しいことなど。
- 国の人口減少の資料ではなく、阿南としてどうするのか。少子化対策に対応する課の人も連れてきて説明して欲しい。
- 第2期以降のことを知れば良かったが、今後の説明会で聞ければと思います。
- 子どもたちはどう思っているのか。
- クラブ活動の件について。

問 5 その他・ご意見（抜粋）

- 長生小の地域の良さが継承されることを強く望みます。
- 南海地震は広域で被災されることが予想されるため、公共施設を減らすようなことはしてはならないと思う。また、自転車の通学路についても危険な所がないか調べることができているか。
- もう少し子どもの目線で考えてほしい。私も少人数の学校に通っていたが、バス通学で時間の自由がなく、放課後も遊ぶ友達もいなかった。その経験もあり、地域ごとの学校であって欲しいと、今の自分の子どもを見ていて強く願います。
- 学校再編は少子化の中で止むを得ないと思う。

地区	羽ノ浦地区	開催日	2024 年 2 月 21 日（水）
会場	コスモホール	開催時間	19：00～20：30
出席者数	26 人	就学校	羽ノ浦小学校・岩脇小学校 羽ノ浦中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 通学手段について、学校の行き帰りだけであればスクールバスで十分だが、友達の家遊びに行くときに6km先とか10km先になってくると、地域のバスを使えるフリーパスが必要になってくると思う。またライドシェアのようなことも通学手段の確保に今後利用できるようになると思う⇒貴重なご意見ありがとうございます。
- 災害時に、羽ノ浦小学校や羽ノ浦中学校には避難者のアクセスの問題や救援物資の車両が敷地内に入れるかどうかといった問題があると思う。この点について、災害拠点として学校をどう考えているのか⇒災害時には学校施設が避難所になるため、地域の皆さまが集まれるような状況を作っていかなければならない。一方で、羽ノ浦小学校の現状をみると、周辺には狭い道路もあるため、そのあたりを市長部局と連携しながら全体の防災対策を考えていきたいと思う。
- 羽ノ浦小学校も岩脇小学校も、児童数の減少や、築年数の問題を抱えている。将来を見越した投資として、現在の羽ノ浦小学校の建て替え計画に岩脇小学校を加えて、1つの校舎で統合することはできないのでしょうか⇒再編実施計画では、この2校は統合が必要な状況ではないと判断したことから再編する予定は立てていない。一方で、統合を否定しているのではなく、合意形成が取れば、再編することはできる。
- 児童や生徒を中心とした学びを進めていくということであるが、教職員に対してはどのような研修がされるのか⇒子どもたちの不安解消を図ることや夢のある学校を作る上で共通理解を図る必要があると思う。そのため、今後は再編となる学校同士で研修を行うことを考えている。

説明会後のアンケート結果

問4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- 通学に関することで現時点での考えや懸念について、共有した方がよいと感じました。
- 能登半島地震のことを考えると、各学校の耐震状況が気になります。
- 学校の再編は地域の再編に関係してくると思いますが、町づくりを考えた再編になっているのでしょうか。
- 岩脇小学校の建て替え。
- 羽ノ浦小学校の建て替えと土地の確保。
- 校舎、学童、スクールバス、運動場などの子どもが実際に使う施設の詳しい案。

問5 その他・ご意見（抜粋）

- 保育園（所）や学童の問題も含めて包括的に考えていただきたいと思います。また、教育委員会だけでなく、他の部局とも連携して広域的視点で、計画の早期の実現をお願いします。
- 大人が使用している建物が綺麗で、子どもが使用している建物が古くて危険性があるのは不公平だと思うので、学校の改修について早期に対応していただくようによろしくお願いします。
- 住民説明会について、周知・案内の面でももう少し早く分かりやすくしてもらえると助かります。
- 羽ノ浦小学校の建て替えと同時に、岩脇小学校との統合も検討していただきたい。
- 校舎が古く、子どもを通わせるのが心配なため、別の地域に通わせたいと検討したことがある。実際に阿南市に住みたくても、学校が古いところが多く心配だからと、別の市に家を建てた知人が何人もいる。再編するのは良いと思うが、安心して通える環境を整えてほしい。

地区	富岡地区	開催日	2024 年 2 月 26 日（月）
会場	富岡公民館	開催時間	19：00～20：30
出席者数	9 人	就学校	富岡小学校・阿南中学校

質疑応答内容（抜粋）

- 小規模特認校制度で他の学区から吉井小学校に来た子どもは、小学校卒業後にどこの中学校に通うのか⇒基本的には住んでいる学区の中学校に通うことになる。ただ、小学校で仲良くなったのに中学校でバラバラになることを考えると、中学校も一緒にすることも検討したい。
- 小規模特認校制度について、中学校での導入はできないのか⇒中学校は高校進学を考えると、人数が多い学校で学ぶことがいいと考えるため、小規模特認校制度の導入は検討していない。
- 通学時間が長くなることで授業時間の調整は考えられているのか⇒授業自体の時間は決められているため、授業の開始時間を調整することになる。
- 学校の再編・統合を何度も繰り返すと学校側の負担や子ども、保護者の負担が増えると思う。繰り返さないための工夫が必要では⇒他の住民説明会でも同様のご意見をいただいている。今回の実施計画は学校間での合意があれば再編ができる。その点で柔軟に対応していきたい。
- 学校再編によって地域内での人口移動が加速し、学校がなくなる地域では人口減少が進まないか心配⇒地域の学校の在り方だけでなく、人口の推移などの状況をしっかり認識した上で再編に取り組んでいきたい。

説明会後のアンケート結果

問 4 実施計画（素案）について、もっと知りたかったことは何か。（抜粋）

- 新しい学校づくりは今現在行っている教育でも行えていると思う。それ以外で新しい学校づくりによる効果は何か、もっと具体的なものが知りたい。
- スクールバスの運行について、どれくらいの規模でスクールバスを考えているのか。
- 再編検討会でどこまで合意を取るか。合意が得られないといつまで経っても準備委員会に進めないのか。再編のスピードに差が出るであろうと思いました。
- 再編による具体的なメリットとデメリットについて教えていただきたい。特にデメリットについては、どのように対処するつもりなのかもあわせてお示しいただけたらと思います。

問 5 その他・ご意見（抜粋）

- 老朽化している施設や設備があるが、再編を行いながら、現在ある学校施設の維持を行って安全安心な環境を守っていってくれるのだろうか。
- よく準備されたプレゼンで、とてもわかりやすかったと思います。現段階では、これ以上踏み込んだ説明が難しいであろうということも理解できました。建設的なご意見もあり、この説明会が有意義であると感じました。
- 参加人数が少なかったのがもったいない気がしました。今後は出前講座があるということで、各園・学校でも取り入れて考えられるようになると良いと思います。
- 学区制を緩和した方がいいのかもと思います。

阿南市立小・中学校再編に係る
地域住民説明会アンケート

WEBで回答できます。



1	富岡	2	宝田	3	中野島	4	長生	5	大野	6	加茂谷
7	桑野	8	見能林	9	新野	10	福井	11	椿	12	伊島
13	橘	14	那賀川	15	羽ノ浦	16	その他				

ア 10代 イ 20代 ウ 30代 エ 40代 オ 50代 カ 60代以上

1 保護者 2 学校関係者 3 自治会など地域の団体
4 その他（ ）

[illegible][illegible]